

建設物価 建設資材物価指数[®] 2026 年 9 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

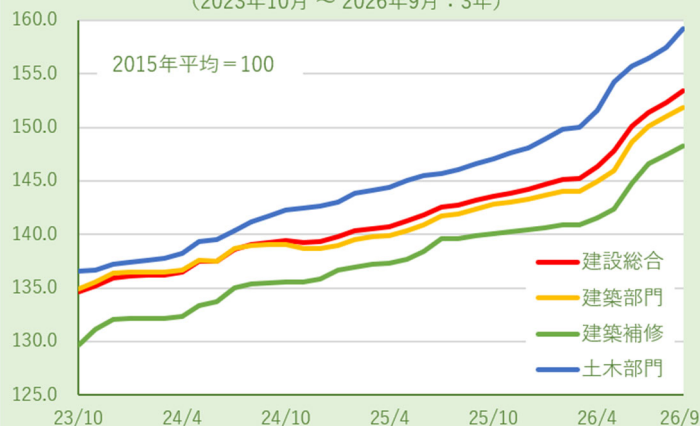
1. 指数の動向（全国平均）

2026 年 9 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均) が **153.4** となり、前月比+0.7%(+1.1 ポイント)と 22 カ月連続の上昇となった。前年同月比では+7.1%(+10.2 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **151.8** となり、前月比+0.6%(+0.8 ポイント)と 22 カ月連続の上昇となった。前年同月比では+6.6%(+9.4 ポイント)となった。**建築補修**は **148.3** となり、前月比+0.6%(+0.8 ポイント)と 22 カ月連続の上昇となった。前年同月比では+6.0%(+8.4 ポイント)となった。**土木部門**は **159.2** となり、前月比+1.1%(+1.7 ポイント)と 2020 年 6 月以降 76 カ月連続の上昇となり、最高値を更新した。前年同月比では+8.6%(+12.5 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2023年10月～2026年9月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】 ガラス繊維製品

中東情勢の緊迫化で原材料ナフサが高騰するなか、メーカーの価格改定が浸透し、指数動向のプラスに寄与

【非鉄金属】 電線・ケーブル類

銅の世界的相場の高騰による原材料コストの増加を反映した値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

なし

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別に見てみると、**【高松】**（前月比+2.3%）では、原材料費の慢性的な高止まりに加え、製造・輸送コストの増加に伴う生コンクリートや大型コンクリートブロックの値上げの浸透が、指数動向のプラスに大きく寄与した。

また**【仙台】**（前月比+1.1%）では、製造コストの増加に加え、プラントの雇用の維持などを理由として打ち出した生コンクリートの値上げが需要家に浸透し、指数動向のプラスに寄与した。

【新潟】（前月比+0.9%）でも、セメントや砂といった原材料費の値上がりによる製造コストの増加を転嫁すべく、生コンクリートの値上げを打ち出し、その一部が需要家に受け入れられ、指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2026年9月分】

全国平均：153.4	札幌：155.6
前月比 +0.7%	前月比 +0.6%
前年同月比 +7.1%	前年同月比 +5.7%

大阪：158.8	新潟：149.9	仙台：148.6
前月比 +0.6%	前月比 +0.9%	前月比 +1.1%
前年同月比 +9.3%	前年同月比 +7.2%	前年同月比 +7.5%

福岡：154.7	広島：152.3	東京：152.9
前月比 +0.4%	前月比 +1.0%	前月比 +0.5%
前年同月比 +7.5%	前年同月比 +7.9%	前年同月比 +6.4%

那覇：151.4	高松：163.3	名古屋：152.3
前月比 +0.6%	前月比 +2.3%	前月比 +0.8%
前年同月比 +6.3%	前年同月比 +8.5%	前年同月比 +6.2%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp